

YMCA News

2



自分らしく、生きる

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が取り組むべき
「持続可能な開発目標」です

16

平和と公正を
すべての人に

ヨモヤ商店は、障がいのある方の就職活動を応援する福祉サービスを展開しています。ご利用者様の半数以上が、高校や大学の卒業後にご利用されます。多くの方が学生時代に他者との違いに悩むつらい経験をしています。人と同じように出来ないことで怒られたり、いじめの対象になる体験です。そんな経験から「自分はダメな存在なんだ」と傷つき自信を失ったまま学生生活が終わり、社会で生きる自信を持ってない方が多くいらっしゃいます。「なぜ皆と同じにできないの?」と怒られたことで「自分は普通じゃないから嫌われる」と学び、他者の目線を必要以上に気にしてしまう方や、自分に価値を感じられないことで、幼少期や思春期に自分で命を絶つことを考えた経験があると教えてくれる方も少なくありません。「人と違う」ということは、驚くほど私たちの身近な学校や会社、そして

家庭の中で「差別」という形で存在しているのかもしれませんが。そしてその多くは、大人から始まっていることも忘れてはいけません。子どもたちは「人と違う」という事実に対して、大人がどのような態度をとるのかを見て学んでいるのだと思います。私たちがいつも心がけているテーマは「楽しんで、生きよう」です。そのため最初は、いつも「どのように生きたら幸せですか?」という質問から関わりを始めます。可能性が少なくても一緒に選択肢を考え、出来ることを一歩ずつチャレンジし、その都度喜びあっています。「人と違う」を「自分らしさ」と認識してもらいたい。「自分らしさ」で誰かと繋がれるのはきっと楽しい。そのままの自分で、誰かどで生きられる自分に出会うことが、社会で生きる大きな勇気になると私たちは考えています。

株式会社ヨモヤ商店 代表取締役 觸澤陽介

盛岡 YMCA の使命

私たち、盛岡 YMCA は、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

ダイナミックスキーキャンプ報告

15 陸の豊かさも
守ろう



こんにちは!!岩手県立大学4年の十文字堅斗です。子ども達からおびリーダーと呼ばれています!私からは1月7日~1月9日の2泊3日で行われた、ダイナミックスキーキャンプの報告をさせていただきます。今回のスキーキャンプには、40人の元気いっぱいな子ども達と、個性豊かな15人のリーダー計55人が参加しました。

スキーレッスンでは、各グループが目標に向かってレッスンをしました。最終日のテストでは緊張している子もいましたが、レッスンの成果を十分に出すことができたと思います。真剣にテストに挑んだからこそ、その達成感は大きく、レッスン後もスキーの話題で持ちきりでした。また、グループ関係なく、近くを通ると「頑張っ!!」と応援したり、「ヤッホー!!」と声をかけたりする姿も見られました。



生活グループでは、スキーであったことを話したり、グループで遊びを考えたりしていました。食事では黙食などのルールがある中で、話すときはマスクを着けたり、ジャスチャーで気持ちを伝えたりと工夫をしながら楽しんでいました。

私が今回のキャンプで特に驚いたのは、自分のことは自分で頑張る子が多かったことです。特に低学年の子ども達もスキー板を自分で運んだり、部屋の片づけも子ども達から始めたりする姿が印象に残っています。そんな、一人ひとりの意識や行動があったからこそ、笑顔が溢れる、楽しいキャンプになったと思います。

岩手県立大学4年 十文字堅斗(おびリーダー)



ステップII研修を終えて



9月29日~12月2日までの65日間に渡って、全国YMCAのステップII研修に参加させていただきました。長い期間、現場業務から離れ、全国のYMCAスタッフの方たちと様々な講義へ参加し、たくさんの学びを得ることができました。研修は、人間関係トレーニングから始まり、聖書、SDGs、労務、ICT、リーダーシップ等、多くの分野の講義があり、どれも刺激の多い内容でした。

今回のステップII研修では、たくさんの学びがありました。その中でも今感じていることは、私たちはいつも誰かに支えられて生きているということです。本来であれば静岡の東山荘で研修を行う予定でしたが、私のみオンラインでの参加となり、そこには多くの困難がありました。初めて会う方々とオンラインで関係を作っていくことはとても難しいものだったように思います。

現在、オンライン授業等は当たり前になってきていますが、「人との深いつながり」、「感動的な出会い」というものは、オンラインでは体験することのできないものなのではないかと今回の研修で実感しました。

しかし、そうした中、研修の課題に取り組む上でYMCAのスタッフの方々や、内丸教会の牧師の中原先生、講師の方々には私の考えや意見、悩みをたくさん聞いていただき、多くの気づきを得ることができました。それは、関わってくださった方々が私を支えてくださったからこそだと感じています。

盛岡YMCAの活動に戻っても、この時感じたことを忘れずに、私も誰かを支えていけるように考え、行動していきたいと思います。特に子どもたちとは、直接人と関わる中で起こる様々な困難や、喜びを通して「感動的な出会い」を一緒に体験していきたいと考えています。

ステップII研修に参加させていただいたことに心から感謝いたします。



水泳事業部・
野外活動事業部
主任 武田悠

スプリングサッカー大会のご案内



「また来年も参加するね!!」という子どもの声があったのは一昨年度のスプリングサッカー大会の帰り際。あれから2年、今年度はスプリングサッカー大会を開催することといたしました!

昨年度はコロナ感染拡大により大会中止を余儀なくされてしまいましたが、今年度は対策をしっかりとった上で、開催いたします。サッカースクールはIII期に突入し、今年度やってきたことの総決算となりますが、この時期はグラウンドの状態に左右され、思うようにボールもコントロールできず、モヤモヤしている子どももたくさんいることと思います。そんなサッカー大好き子たちは毎年、天候に左右されずに思いっきり楽しめるこの大会で、キラキラとした笑顔を見せています。

2022年度盛岡YMCAサッカースクールは『自分を開放できる場所』をコンセプトに、子どもたち一人ひとりの個性を認め、子どもたちがサッカーを通して体を動かす楽しさや、チームの一体感を感じることができる場所だと考え活動してきました。これは、スタッフだけではなくサッカースクールに関わってくれた大学生ボランティアリーダーも共有しており、サッカースクール全体で今年度のサッカースクールを盛り上げました。

皆さんも一緒になって、笑って楽しんで、リーダーたちと今年度最後のサッカー大会を盛り上げましょう!!

☆日時:3月12日(日) 10時~13時(予定)

☆場所:洪民総合体育館

サッカー事業部主任 東森聡





自分と違う誰かに向けて

今年もピンクシャツデーの季節が来ました。初めに、ピンクシャツデー運動についてお伝えしたいと思います。

2007年、カナダのハイスクールで中学3年生の男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校したことをきっかけに、ホモセクシュアルだからかわれ暴行を受け、耐え切れず帰宅してしまいました。

その出来事を聞いた2人の上級生は、ピンク色のシャツやタンクトップを買い込み、学校のBBS掲示板やメール等を通じてクラスメートたちに、「明日、一緒に学校でピンクシャツを着よう」と呼びかけました。

2人が呼びかけた人数よりも遥かに多い生徒たちがピンク色のものを身につけ登校してきたことで、学校中がピンクに染まり、いじめられた生徒は安どの表情を浮かべていたそうです。(日本ピンクシャツデー公式サイトより)

ピンクシャツデーの取組で大切なことは何なのでしょう。それはきっと、自分と違う誰かを思いやる気持ちを育むことではないでしょうか。そう考えると、YMCAでは日々のプログラム、児童クラブの生活の中で大切にしていることと通じます。子どもたちはたくさんのぶつかり合いの中で、お互いの思いを伝えあい、知り、気づくことが出来るようになっていきます。



さて、そういった子どもたちを取り巻く大人はどうでしょうか。相手を認めているようで、陰で悪口を言ったり、自分とは違う感性を持つ他人を、自分とは合わない人として関わらないようにしていたりしませんか。

今年のピンクシャツデーが、大人にとっても、自分と違う誰かを考えるきっかけになればと思います。

盛岡YMCA 浅沼慧

Y's × SDGs Youth Action2022

子どもの人権プロジェクト活動報告

4 質の高い教育を
みんなに



盛岡YMCAボランティアリーダーのぶんちんです。私たちは今回、岩手弁護士会子どもの権利委員会(※1)の方々からお声がけをいただき、「子どもの人権プロジェクト」の活動を開始しました。活動の資金は、Y's×SDGs Youth Actionとして、ワイズメンズクラブ(※2)の方々から援助をいただいています。

初めに、子どもの人権を考えるにあたり、「子どもの権利」について簡単に説明したいと思います。「子どもの権利」とは、1989年国連総会にて採択された「子どもの権利条約」から来ており、日本では国連での採択から5年後にあたる1994年に批准をしました。「子どもの権利条約」とは、18才未満の子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約で、児童を一人の人間として人権を認めることや、成長過程で特別な保護や配慮が必要な子どもの権利保障などが定められています。

私たちは、「子どもの人権プロジェクト」を2022年度～2024年度という3か年の期間で取り組んでいき、最終的には人権かるたを作成することを目標としています。

今年度の私たちの取り組みをご紹介します。取り組みを行うにあたり、岩手弁護士会子どもの権利委員会の方々が行っている「人権セミナー」にて、私たちボランティアリーダーが人権について学びの時を持ちました。この学びをもとに2024年度の最終目標に向け、まずは人権標語を子どもたちから集め、集まった標語をYMCAに集う子どもたちや保護者の方々、その他連なる方々に発信することから始めました。

発信にあたり、チラシやポスター、PR動画を岩手弁護士会子どもの権利委員会の方々から助言をいただきながら作成し、岩手県内の小中学校に案内しました。その結果、約2ヵ月間で45件の応募があり、集まった標語の数は78個にのびりました。

また、盛岡YMCAの放課後児童クラブ「ぶらいむ・たいむ」に行き、日々の生活の中で感じていることなど、子どもならではの素朴な声に耳を傾けてみました。その中で、子どもたちに「人権」について伝えることは簡単ではないということを実感した一方で、子どもたちの声の中で「人権」につながる言葉も聞こえてきました。

そして、2022年10月には、岩手弁護士会子どもの権利委員会の方々のご指導のもと選考会を行いました。どの作品も思いが込められており選考に当たっては非常に頭を悩ませましたが、子どもならではの率直な気持ちが表れており、大賞・リーダーの心を打ちぬいたで賞の3つの標語をご紹介します。

■大賞作品

「一人一人がもつ個性、壊しちゃいけない宝物」

それぞれの個性が大切にされる今の世の中に響く作品で、もしその個性がこわれてしまったらどうなるのだろうか、という事を子どもたちに考えてもらうきっかけになるというのが選考理由です。

■リーダーの心を打ち抜いたで賞

「岩手弁、しゃべれなくても、いいやんけ」

「大人だけ、そんな言葉を使うなよ」

また、特別賞として10作品が選ばれました。

今後は、リーダーと子どもたちのかかわりを基盤に、かるた完成に向けて絵の募集などを行っていき、一人でも多くの子どもたちが「人権」に触れ、考える機会を共にしていきたいと考えています。

文責：岩手大学 小河原悠加(ぶんちんリーダー)

(※1)岩手弁護士会子どもの権利委員会

岩手県内に事務所のある全ての弁護士が加入している岩手弁護士会の中にある委員会の一つ。基本的人権の擁護と社会正義の実現という弁護士の使命を果たすために活動が行われている。

<http://www.iwateba.jp/>

(※2)ワイズメンズクラブ

青少年の育成団体であるYMCAの活動を支援することを第一の目的として、地域・国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体。盛岡では、2007年2月にもりおかワイズメンズクラブが誕生し、YMCAの諸活動を支えています。



子どもの人権プロジェクト
人権標語入選発表



▼世界2位

ニューヨークタイムズが選ぶ「今年行くべき世界の旅行先のランキング」で盛岡がロンドンに次いで2位になったことが全国ネットで報道されました。このニュースを聞いた市民の多くが「えっ、何で?」という感想をもったと思います。しかし、その記事の中で紹介された盛岡城跡公園には、ちょっと自慢したくなる秘密があるのです。

▼牛蒡(ごぼう)積み

盛岡城の石垣は、牛蒡積みという技術が使われています。できるだけ自然石を使い、大きな石と石の間には小さな石を埋め込みながら積んでいきます。大きな石の土の中に埋め込まれている部分を「控え(ひかえ)」と言いますが、これは短いもので1メートル、長いものでは2メートルにもなるそうです。こうした様々な大きさ、長さ、形状をもった石が向きや角度、方角等を考えながら、まるで牛蒡の根のように組み合わされることによって、大砲で撃たれてもすぐには崩れない頑丈な作りになっていくのです。

▼YMCAって?

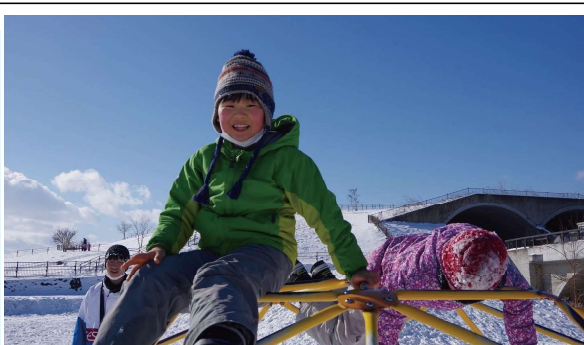
先日、盛岡YMCAリーダー会の第24代?(多分)会長に岩手大学3年の長澤実花さんが選出されました。大人数の組織をまとめていくのは、大変だとは思いますが、いろいろな個性や価値観を持った歴代リーダーたちが他者の意見や考えに耳を傾けながらそれぞれ、牛蒡積みのように積み上げてきた組織は、そうそうのことで、くずれない頑丈さを持っていると思います。そして、このことは、盛岡YMCAのリーダー会にかぎらず、日本や世界のYMCAに共通している大切な伝統と言えるでしょう。

一つの体、多くの部分(コリント信徒への手紙12章)

身体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様なのです。なぜなら、私たちは皆、ユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、一つの霊によって一つの体となるために洗礼を受け、皆一つの霊を飲ませてもらったからです。実際体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。足が、「私は手ではないから、体の一部でない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるのでしょうか。もし、からだ全体が目だったらどこで聞きますか。もし全体が耳だったらどこで嗅ぎますか。そこで神は、御心のままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。すべてが一つの部分だったら体はどこにあるのでしょうか。しかし実際は、多くの部分があっても、体は一つなのです。目が手に向かって「おまえたちは要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかより弱く見える部分がかえって必要になるのです。私たちは体の中でつまらないと思える部分にかえって尊さを見出します。実は、恰好の悪い部分がかえって恰好の良い姿をしているのです。しかし、恰好の良い部分はそうする必要はありません。神は劣っている部分をかえって尊いものとし、体をついにまとめてくださいました。それは、体の中に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合うためです。一つの部分が苦しみ、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。あなたはキリストの体であり、一人一人はその部分です。

盛岡 YMCA 総主事 濱塚 有史

表紙の写真から



1/29に行われた「ちきゅうと、あそぼう。『われら!!わんぱく雪遊び隊』」での1コマ。久しぶりの青空の下で思いっきり楽しみました。



立春を迎えると、暦の上ではもう春になりますが、まだまだ寒い日が続きますね。2月3日の節分には豆まきをしたご家庭も多いと思います。以前、園児に豆まきにも使われる「大豆」について、いくつか聞いてみました。大豆になる前のお野菜は何か?大豆を茹でて、すり潰し、こした飲み物は何か知っている?豆乳をにがりで固めた食べ物な~に?豆腐を油で揚げると何になるかな?などなど「大豆の仲間」について知っている子は限られていました。

大豆は『畑の肉』と言われるほど栄養豊富で、様々な形に加工され私たちの食生活を支えています。大豆は、ご飯に少量しか含まれていない必須アミノ酸が多く含まれているので、ご飯に味噌汁という組み合わせは鬼に金棒。昔から食べられている朝食の代表です。味噌には体を温める効果もあるので、朝食で食べると良い1日のスタートになりそうですね。

味噌には、原料や熟成具合によって、色々な種類がありますが、子どもと一緒に作れる味噌の作り方を紹介したいと思います。

【材料】

- 乾燥大豆・・・500g
- 麴・・・500g
- 食塩・・・250g
- 大豆の煮汁・・・20～30cc
- 焼酎(霧吹きにいれる)

★食塩・・・100g程度(最後に振りかける)

【準備物】

- 厚手のビニール袋2, 3枚
- 味噌を入れる樽かタッパー
- ボウル

- 1.下準備として大豆を洗い、たっぷりの水に浸けて涼しい場所に一晩置いておく。
- 2.鍋に大豆を入れて、指で簡単につぶれるくらい柔らかくなるまで茹でて、ザルにあける。分量のゆで汁は取っておく。
圧力鍋があるご家庭は20～30分間圧力をかけ茹でる。
- 3.大豆が温かいうちに厚手のビニール袋に入れ、手でつぶす。ビニール袋を2重にして足で踏むのもOK!
- 4.ボウルに食塩と麴を入れ、すり混ぜる。
- 5.③を④に入れ、混ぜる。煮汁を加えてまた混ぜる。柔らかいようなら、煮汁を加減する。
- 6.味噌を入れる容器(樽やタッパーなど)に焼酎を振りかけ、ビニール袋をかけ、また焼酎を振りかけておく。手で⑤をボールサイズに丸め、空気が抜けるよう容器に投げ入れる。
- 7.全て投げ入れたら、表面を平らにして★の食塩を全体にふりかけ、焼酎もふりかける。
- 8.ビニール袋の空気を抜きながら、袋を結び蓋をして風通しのいい冷暗所に置いておく。
約6か月で完成。



手作りの味噌は、時間が経つにつれ色が濃くなっていきます。大豆の潰し具合や熟成期間、温度によっては世界でたった1つの味噌になります。乾燥した大豆が味噌になるまでの、大変身を見て・嗅いで、市販の味噌とは全く違う味を楽しんでみてください。



盛岡市内保育所調理師
ぶらいむ・たいむ向中野校メンバー保護者
藤原 留美

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram

(2023年度1月新規会員) 敬称略
●2022年度 維持会員
山口 貴伸

